

太 陽

日	赤 經	赤 緯	視直徑	星 座
1	2時29分31秒	北14度45分	31分49秒	ひつじ
11	3時 8分 3秒	北17度36分	31分44秒	ひつじ
21	3時47分33秒	北19度58分	31分40秒	うしし
31	4時27分56秒	北21度46分	31分37秒	うしし

月始めは金牛宮に在るが、二十一日から双子座に侵入する。日の出は一日は五時七分、十六日は四時五十三分、三十一日は四時四十五分。日の入は、一日は六時四十一分、十六日は六時五十三分、三十一日は七時四分。

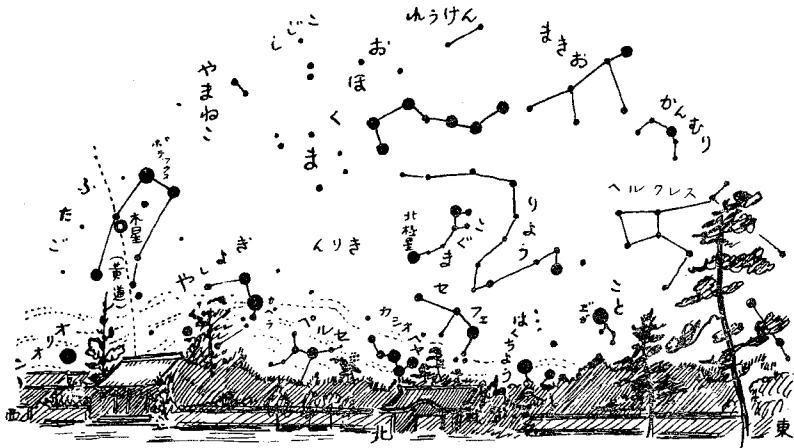
月

月の相	時 刻	視直徑	星 座
満 月	2日午後 2時14分	32分44秒	てんびん
下 弦	9日午後 9時48分	29分49秒	いて
新 月	18日午前 0時28分	30分28秒	うしし
上 弦	25日午前 4時39分	32分11秒	しし
満 月	31日午後11時33分	31分53秒	さそり
遠地點通過	12日午前10時18分	29分31秒	みづがめ
近地點通過	28日午前 1時18分	32分30秒	をとめ
昇交點通過	14日午後 3時 6分	29分40秒	うを
降交點通過	28日午前 1時 0分	32分30秒	をとめ

月の出は、一日は午後五時五十三分、十一日は午前一時四十八分、二十一日は午前七時二十分、三十一日は午後六時五十九分。

月の入りは、一日は午前四時十六分、十一日は午後零時五十二分、二十一日は午後十時四十七分、三十一日は午前三時五十七分。

今月の月の遊星歴訪には大して見る可き程面白いものもないが、簡単に記すと、七日午後八時に土星と、十四日午後十一時に天王星と、十五日午前十一時に金星と、十六日午前十時に水星と、二十一日午後十一時に木星と、二十四日午前七時に火星と、二十五日午前三時に海王星と出合ふ。



恒 星 界

花も過ぎて、若葉のもの、そぞろ歩きにも、もう肌に汗を感じる。

愈々冬ともお別れだ、オリオンも西に没して、冬の星座は見えない。
銀河は殆んど地平線に没して、大きな星は極く少なく。

でも、南の空には、プロシオン、レグルス、スピカ、さては
アンタレス等が黄道に沿ひ、その南にはシリウスが輝き、
空一ぱいは春の星座の一人舞臺となつて了つた。

南天に「コツブ」、
「からす」の愛らしい星座を見るのも春らしく、
「かみのけ」「りようけん」が天頂近いのも、のどかである。

東天には既に、「てんびん」「さそり」「へびつかひ」等があらはれ、
東北には、「こと」「はくてふ」「ヘルクレス」等が顔を出して、
夏の星座はもう既に、自分達の順番の廻つて来るのを待つてゐる。

北斗七星は、丁度眞北に高く、北極星を指示し、
「こぐま」を取りまいて、「りよう」「セフェ」「きりん」、や
「カシオペア」が居並んで、風車の様にきりきりと廻る。
「こと」座のベータ星は變光星である。變光週期は約十三日足らず。
光度は3.5等の極大二つと、3.8等の極小と4.1等の極小を繰返す。